

1. 秋田県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	205,996,347	
	内訳	うち、国費相当額	102,998,173
		うち、地方負担相当額	102,998,174
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	26,939	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	47,381,987	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	158,641,299	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	79,320,649
		うち、地方負担相当額	79,320,650
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		158,641,299	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		168,986,072	
⑩	保有割合		0.94	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)	
		合計	一般財源等					基金充当額
1	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	2,402,443	0	2,402,443		64.0%	2,405,000	9,620,000
2	環境活動推進事業	11,896,028	960,815	10,935,213		45.7%	0	0
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	18,718,282	8,000,000	10,718,282		69.3%	23,286,068	93,144,272
4	自然公園美化対策事業	1,299,000	0	1,299,000		60.0%	1,549,000	6,196,000
5	白神山地利活用推進事業	14,789,628	3,091,994	11,697,634		81.3%	4,470,800	17,883,200
6	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	2,840,179	0	2,840,179		42.0%	3,004,100	12,016,400
7	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	2,154,340	100,000	2,054,340		55.5%	2,050,000	8,200,000
8	環境あきたエコ活動促進事業	2,453,346	0	2,453,346		55.0%	2,500,000	10,000,000
9	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	2,981,550	0	2,981,550		40.0%	2,981,550	11,926,200
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		59,534,796	12,152,809	47,381,987			42,246,518	168,986,072

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2027年度までに80%を達成する。	
成果実績	68.6%	
目標値	80.0%	
達成度	85.8%	

令和5年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	八郎湖地域連携・湖沼水質保全計画推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

八郎湖の環境や水質保全について、地域住民の気運醸成の更なる向上や、その重要性についての理解を深めるため、民間と協働で普及啓発や環境教育の取組を推進するほか、環境教育用の教材を作成し、環境教育の機会を継続して提供する。

【目標】

湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。

※2021年度現在の目標値

＝第3期湖沼水質保全計画（最終2024年度（令和6年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD7.1mg/L

※2025年度以降の目標値は、2025年度に策定する第4期湖沼水質保全計画で定める。

2. 概要

地域で環境保全活動する団体と協働で、八郎湖の水質保全に係る普及啓発や環境教育の取組を推進する。また、八郎湖の環境や水質について学習する機会を増やすことで、八郎湖への理解や関心を深める。これらの取組により、地域全体の環境保全意識を高めて定着させる。

- （1）八郎湖環境学習・地域交流等推進業務
- （2）環境副読本の配布
- （3）八郎湖環境保全普及啓発推進業務

3. 根拠法令等

- ・湖沼水質保全特別措置法
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・八郎湖に係る湖沼水質保全計画（第3期）

4. 実施内容等

- （1）八郎湖環境学習・地域交流等推進業務

八郎湖流域の小学校等に対し、環境学習の出前授業を実施したほか、子ども交流会を環境学習の一環として開催した。
出前授業計45回実施（延べ参加人数1,236人）、子ども交流会の開催（9月18日参加人数計15人）

- （2）環境学習副読本の作成配布

小学校5年生を対象とした環境副読本（A4、カラー、8ページ）を1,000部作成し、八郎湖流域の全小学校の5年生全員及び関係機関に配布した。

- （3）八郎湖環境保全普及啓発推進業務

八郎湖の環境保全をテーマとした住民参加型の普及啓発イベントを開催し、地域住民等の意識啓発を図った。

八郎湖モグリウム水槽設置（2か所）、八郎湖流入河川で水生生物調査計2回実施（延べ参加人数12人）

八郎湖モグリウム活動成果報告会の開催（12月2日参加人数計25人）

令和5年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	八郎湖地域連携・湖沼水質保全計画推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

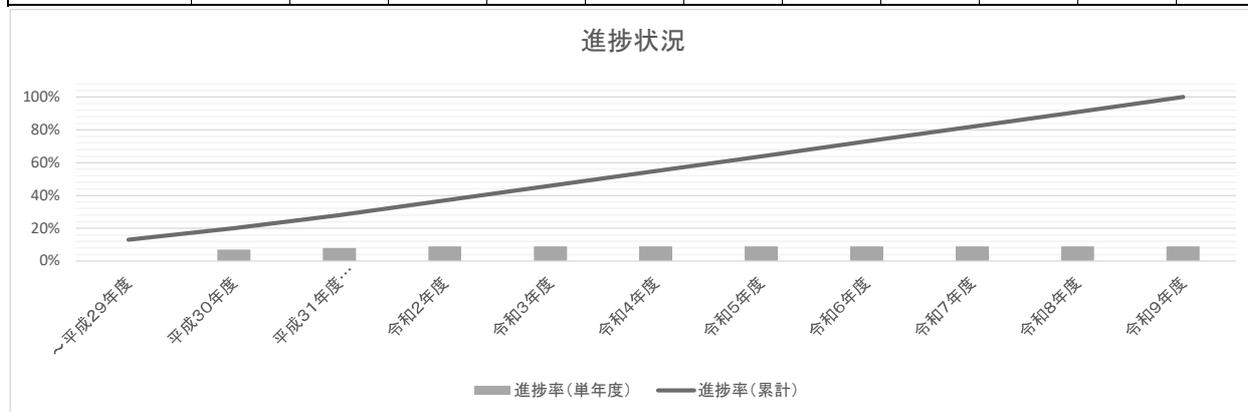
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	152,443	0	152,443	副読本作成等
借料	0	0	0	
委託費	2,250,000	0	2,250,000	環境学習出前授業・交流会、普及啓発イベント委託一式
負担金	0	0	0	
合計	2,402,443	0	2,402,443	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,545	1,675	1,750	1,720	2,069	2,403	2,405	2,070	2,070	2,070
事業費(累計)	4,623	6,168	7,843	9,593	11,313	13,382	15,785	18,190	20,260	22,330	24,400

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率(累計)	13%	20%	28%	37%	46%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

日本のみならず、世界情勢において地球温暖化などの環境問題が顕在化しており、環境保全活動の重要性が取り沙汰されている。環境問題を解決し、持続可能な社会の実現を目指すためには、県民、特に秋田県の将来を担う若年層の意識の変容を促していく必要がある。こうしたことから、県においては環境教育等促進法に基づき「秋田県環境教育等に関する行動計画」を策定し、環境学習の機会や意識醸成のための取組など環境教育に関する取組を実施している。県民に3Rなどの循環型社会形成の大切さや取組み内容等について啓発することで、自主的・継続的に環境保全に携わる人材の育成を目指す。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

2. 概要

・学校や子どもエコクラブ等に対し、環境教育・環境学習に係る器具の提供や貸出、SDGsに関する教育を行うことで、県民、特に若年層への環境保全意識を醸成し、自主的な取組を促進する。

・環境大賞として環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・第2次秋田県環境教育等に関する行動計画

4. 実施内容等

①学校・子どもエコクラブへの環境教育支援

県内各学校に応募を募り、秋田県立大曲支援学校、秋田県立支援学校天王みどり学園、大館市立有浦小学校、横手市立大雄小学校、大仙市立中仙小学校、大館市立西館小学校、男鹿市立男鹿東中学校、湯沢市立湯沢南中学校、湯沢市立稲川中学校、秋田県立新屋高等学校の10校を環境教育支援校に指定した。また、各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。

子どもエコクラブへの環境教育支援としては、令和5年度に登録されている子どもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、子どもエコクラブ活動報告集2023を1000部作成し、子どもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。

②環境大賞の表彰

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、個人・学校教育関係・団体の3部門に14件の応募があり、選考委員会で6者（1個人・1学校教育関係・4団体）を環境大賞受賞者に選定した。

9月に開催されたあきたエコフェスにおいて表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。

・応募部門内訳

個人部門2件、学校教育関係部門4件、団体部門8件

・令和5年度環境大賞受賞者

個人部門：酒井 浩（横手市）「自然観察会の実施」

学校教育関係部門：秋田工業高等専門学校（秋田市）「下水再生水を活用した酒造好適米栽培」

団体部門：横堀地域づくり協議会（湯沢市）「おしら様の枝垂れ桜の環境整備」

団体部門：もっと森山をもりあげ隊（五城目町）「登山道の整備や自然観察会を通した里山の再生」

団体部門：特定非営利活動法人はちろうプロジェクト（八郎潟町）

「八郎潟モグリウム」の観察会や八郎潟・八郎湖の体験学習ツアーの実施」

団体部門：秋田県スキューバダイビング連盟（男鹿市）「海辺と海中の清掃活動」

③SDGsに係わる講師の派遣

県内各学校を対象にSDGsの環境関連ゴールに関する講師を派遣。気候変動など地球環境等に焦点を当てSDGsとの関連性や目標達成に向けた取組（自分たちに何ができるか）をワークショップ形式で学びあえる講座を実施した。

令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

事業実施校
 小学校 4校 (鹿角市 柴平小学校、秋田市 東小学校、横手市 醍醐小学校、湯沢市 湯沢西小学校)
 中学校 3校 (秋田市 桜中学校、大仙市 大曲南中学校、湯沢市 雄勝中学校)
 高校 1校 (秋田市 秋田商業高等学校)
 大学 1校 (秋田県立大学 生物資源科学部)
 特別支援学校 1校 (秋田県立大曲支援学校)

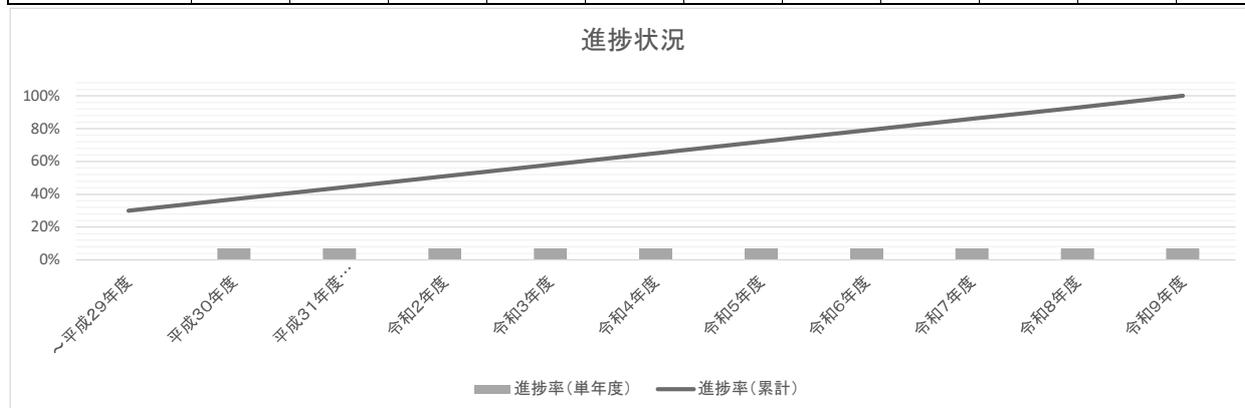
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	144,200	35,000	109,200	
職員旅費	99,378	99,378	0	
その他旅費	79,656	7,437	72,219	旅費合計：179,034円
印刷製本費	121,880	0	121,880	
消耗品費	601,766	0	601,766	需要費合計：723,646円
通信運搬費	24,224	0	24,224	
筆耕料	20,424	0	20,424	役務費合計：44,648円
委託料	249,700	0	249,700	
合計	1,341,228	141,815	1,199,413	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		2,752	2,814	766	874	1,351	1,200	763	763	750	730
事業費 (累計)	5,997	8,749	11,563	12,329	13,203	14,554	15,754	16,517	17,280	18,030	18,760

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

地球規模の気候変動対策など環境問題が喫緊の課題となっており、環境保全活動の実践の重要性が増してきている。環境問題を解決し、持続可能な社会の実現を目指すためには、県民、特に秋田県の将来を担う若年層の意識を変容し、行動に繋げていく必要がある。このことから、スマホアプリを活用し、若い世代を中心として誰でも気軽に環境に配慮した行動を取ることができる機会を提供し、CO2削減量の見える化を図りながら環境保全活動を促進する。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で54%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては52%の削減を目標としている。

2. 概要

・省エネやごみ減量などの環境に配慮した行動（エコアクション）を実践するとポイントが付与され、一定量のポイントが貯まると抽選で小売店やスーパーからの協賛品が貰えるアプリを活用した環境保全活動の促進を図る。また、エコアクションに応じて削減された二酸化炭素量を数値化し、環境への配慮行動の取組が見える化する事業である。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境教育等に関する行動計画

4. 実施内容等

・スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業
環境教育や地球温暖化防止対策に取り組んでいる事業者が開発したスマートフォンのアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」を県民に利用してもらい、地域における環境保全活動の実践を促進した。
また、同事業者とアプリの使用に係るライセンスや保守管理等及びポスター等による普及啓発・環境イベントによる周知について、業務委託契約を締結し、県民の環境配慮に対する意識の醸成を図った。

【実績】（R5年度末）

- ・登録者数：累計5,035人(R5年度のみ：1,761人)
- ・エコアクション数：153,328回
- ・CO2削減量：42,569kg

令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

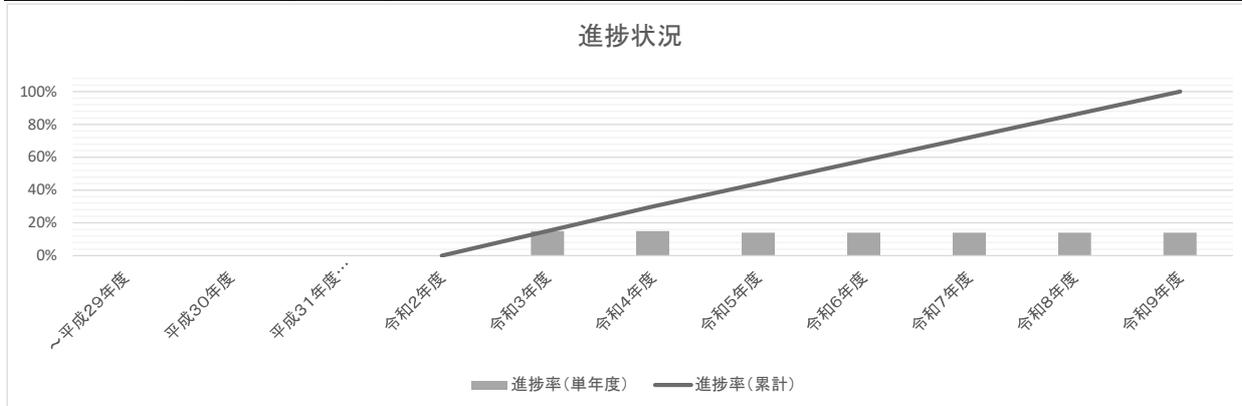
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	7,554,800	819,000	6,735,800	
負担金	0	0	0	
合計	7,554,800	819,000	6,735,800	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					6,448	6,723	6,736	6,191	6,191	6,000	5,980
事業費(累計)					6,448	13,171	19,907	26,098	32,289	38,289	44,269

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					15%	15%	14%	14%	14%	14%	14%
進捗率(累計)				0%	15%	30%	44%	58%	72%	86%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	脱炭素社会を実現するアイデアコンテスト (ECOコン) 事業	開始年度	令和5年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標 (値)

【目的】

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境問題に関心が高い層のみならず多くの県民の環境配慮行動の実践につなげる効果的な手法を探るとともに、比較的関心が低い若者の環境問題に対する関心を高める。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

2. 概要

ナッジ理論を活用するなどして効果的に人々の行動変容を促す手法について、若者の視点を活かしたアイデアコンテストを行う。

家庭、学校、通勤・通学、買い物など日常生活の様々な場面における温室効果ガスの排出削減につなげる仕掛けづくりについて、アイデアの企画から実践までのサポートを行う。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第3次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境教育等に関する行動計画

4. 実施内容等

- (1) 県内の大学生等を対象に、当コンテストについての説明会及び環境問題やナッジ理論についての研修会を実施した(7/26)。
- (2) 応募のあったアイデアの選考を行い、応募のあった3組すべてが基準点を満たしていたため、アイデアを採用した(9/7)。
- (3) 選出された参加者同士の意見交換と、専門の講師による助言を得ることを目的とした交流会を開催し、実践に向けたアイデアのブラッシュアップを行った(9/26)。
- (4) アイディアの実践にあたり、テーマに応じたアドバイザーによる伴走支援を実施した(10月～12月)。
- (5) 実践結果の報告を兼ねた審査会(プレゼンテーション審査)を行い、優れたアイデアを表彰した(R6.2/5)。
- (6) (1)～(5)について県民への広報を行い、環境問題の意識醸成に努めた。

【R5受賞アイデア】

- ・最優秀賞「人感センサーがついていない電灯のナッジ手法を利用した消し忘れ防止活動」(秋田高専園芸科学同好会)
- ・優秀賞「ナッジ理論を用いた古着回収」(秋田大学 個人参加)
- ・優秀賞「ナッジを用いてマイボトル持参を促進」(秋田県立大学システム科学技術部環境システム研究室)

令和5年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	脱炭素社会を実現するアイデアコンテスト (ECOコン) 事業	開始年度	令和5年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

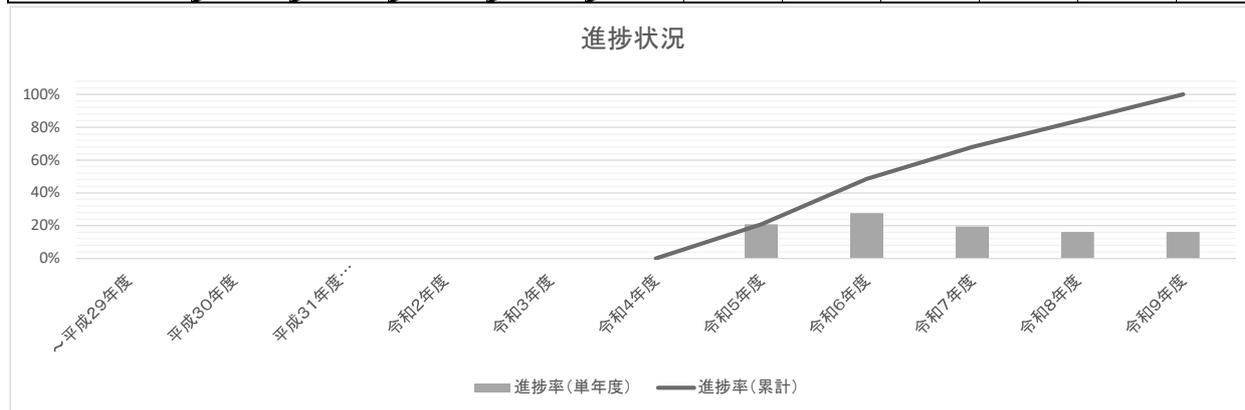
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	3,000,000	0	3,000,000	・チラシ等による周知活動費 ・講師、審査員等への謝金・旅費 ・アイデア実践支援費 ・コンテスト賞品 ・広報活動のための動画・パンフレット制作費
負担金	0	0	0	
合計	3,000,000	0	3,000,000	(単位:円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)							3,000	3,950	2,800	2,300	2,300
事業費 (累計)							3,000	6,950	9,750	12,050	14,350

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)							21%	28%	20%	16%	16%
進捗率 (累計)						0%	21%	48%	68%	84%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域脱炭素化促進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県における温室効果ガスの削減と脱炭素社会の実現に向け、環境問題に関心・意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加による地球温暖化対策を展開する。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

2. 概要

地球温暖化の対策には、その原因物質である温室効果ガスの排出量を削減する（または植林などによって吸収量を増加させる）「緩和策」と、最大限の排出削減努力を行っても、既に排出した温室効果ガスの大気中への蓄積があり、ある程度の気候変化は避けられないため、こうした気候変化に対し自然生態系や社会・経済システムを調整することにより温暖化の悪影響を軽減する（または温暖化の好影響を増長させる）「適応策」があり、これらは両輪となっている。

令和4年3月に改定した第2次秋田県地球温暖化対策推進計画は、本県の「地方公共団体実行計画（区域施策編）」「地域気候変動適応計画」に位置付け、地域における脱炭素社会の実現に向けた取組等について、緩和策・適応策の両面から周知を図るとともに、県民の意識醸成と環境配慮行動の定着を目指し普及啓発を実施する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

主に若年層をターゲットとしてゼロカーボンアクションへの行動変容を促す普及啓発動画（5本）や展示用パネル（20枚）、カーボン・オフセットの理解促進パンフレット（1,000部）等を制作し、イベントやセミナー等で活用したほか、SNS等を通じた配信（年度内の総再生回数55.9万回/5本）や映画館（2本、計56日）での放映を行った。

また、事業者を対象としたセミナー（参加者53人）や市町村職員を対象としたワークショップ（参加者19人）、ウェブサイトを通じて本県の気候変動影響及び気候変動適応に関する理解の促進を図った。

令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域脱炭素化促進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

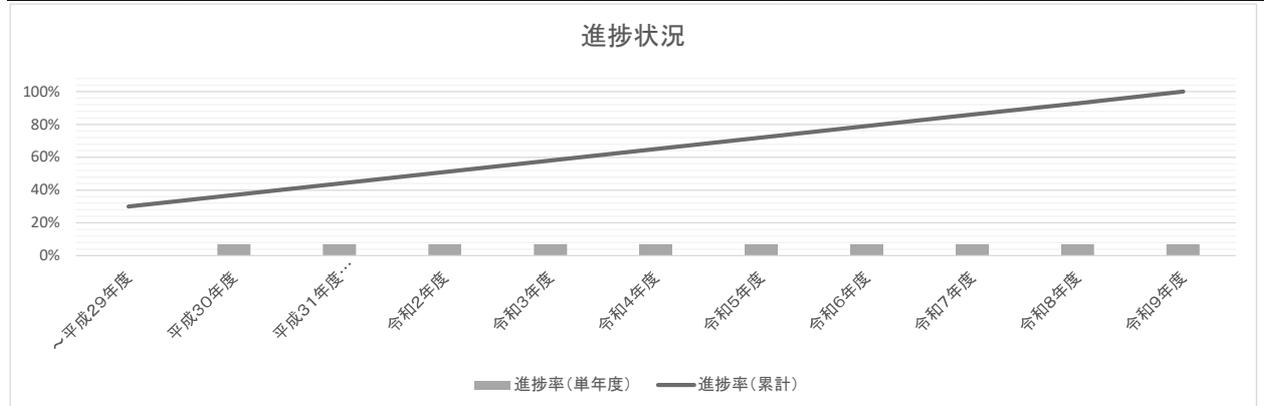
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
講師謝礼	30,000	0	30,000	
講師旅費	61,300	0	61,300	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	2,906,200	0	2,906,200	
負担金	0	0	0	
合計	2,997,500	0	2,997,500	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		65	781	40	52	4,802	2,998	3,320	3,000	2,800	2,500
事業費 (累計)	48	113	894	934	986	5,788	8,786	12,106	15,106	17,906	20,406

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組みである「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

2. 概要

地球温暖化対策推進法に基づく秋田県地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）の機能を強化し、活動の担い手となる人材の育成とともに、地域主体の自主的な取組等を一体的に推進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- (1) 温暖化対策人材育成
対象：秋田県地球温暖化防止活動推進員及びあきたエコマイスター等（以下「推進員等」という。）
 - ・推進員等を対象とした基礎研修会の開催（3回、延べ43名参加）
 - ・推進員等の活動を補完するための視察研修の開催（2回、延べ16名参加）
 - ・推進員等のスキルアップを図るエキスパート研修の開催（3回、延べ36名参加）
- (2) 環境あきた県民塾
地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催。（大仙市、全9回、7～12月）
対象：一般県民（受講者16名、うち修了生14名、エコマイスター登録6名）
- (3) 地域の環境活動支援事業
市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣。
派遣回数：37（受講参加延べ人数：629）

※このほか、基金外の業務（環境教育・地球温暖化防止活動拠点の運営：事業費8,000千円）あり
地域センターニュース（広報紙）の発行など

令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

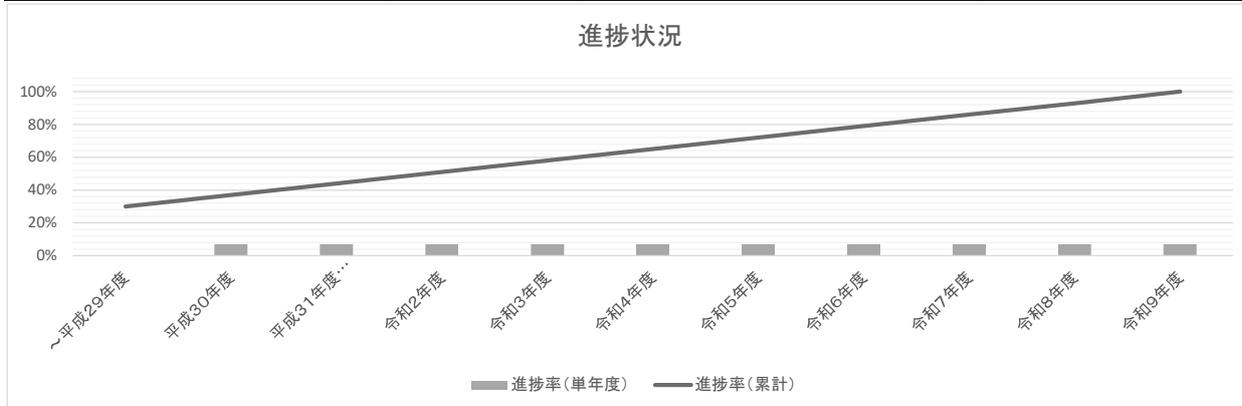
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	14,942,028	8,000,000	6,942,028	
負担金	0	0	0	
合計	14,942,028	8,000,000	6,942,028	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		0	7,240	5,594	6,328	6,961	6,943	8,516	8,516	8,300	8,000
事業費 (累計)	0	0	7,240	12,834	19,162	26,123	33,066	41,582	50,098	58,398	66,398

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和5年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で54%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては52%の削減を目標としている。

2. 概要

地域の環境保全活動のリーダーとして、県から登録を受けている「あきたエコマイスター」等からなる協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。

※令和6年度より地域センター事業に統合（温暖化対策推進人材ネットワーク活動促進業務として）

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- (1) あきたエコマイスターネットワーク活動促進事業業務委託
 県北・県央・県南の3つの地区協議会に対し、各地域の一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託。
 県北：5催事・58名
 県央：9催事・432名
 県南：3催事・37名
- (2) 地区協議会代表者会議を開催し、地域の垣根を越えた情報交換や地域での活動における課題等を協議した。
 日時：令和6年1月16日（火）
 場所：本庁舎 71会議室
 参加者：県北協議会3名、県央〃2名、県南〃3名、秋田県地球温暖化防止活動推進センター3名

令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和5年度

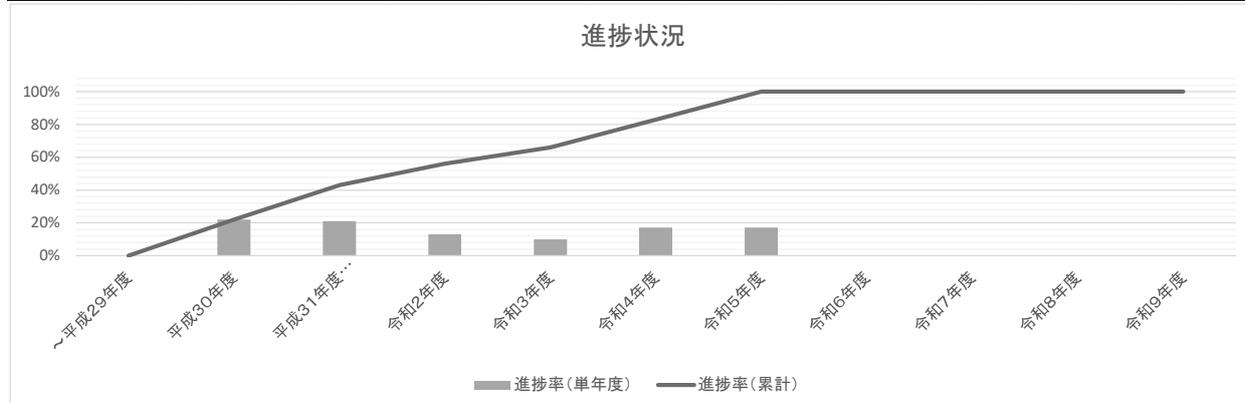
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
旅費	26,724	0	26,724	地区協議会連絡調整会議旅費
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	594,260	0	594,260	地区協議会活動委託（県北：160,880円、県央：200,000円、県南：233,380円）
負担金	0	0	0	
合計	620,984	0	620,984	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		769	750	446	351	604	621				
事業費 (累計)	0	769	1,519	1,965	2,316	2,920	3,541	3,541	3,541	3,541	3,541

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		22%	21%	13%	10%	17%	17%				
進捗率 (累計)	0%	22%	43%	56%	66%	83%	100%	100%	100%	100%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	我が家の快適化促進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

全国と比較し多くの割合を占めている民生家庭部門からの温室効果ガス排出量の削減を目指す。

【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

2. 概要

本県における温室効果ガスの削減及び脱炭素社会の実現に向け、他地域よりも多い状況にある家庭からの温室効果ガス排出量の削減を目指し、断熱化など住宅の省エネルギーの取組等について普及啓発を行う。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

家庭からの温室効果ガス削減を図るため、有識者等で構成する検討会を開催（9月、12月）し、本県における有効な対策とその効果について検討・整理するとともに、県民が身近に取り組める住宅の省エネ対策を中心にパンフレットにとりまとめ、県民の意識醸成と行動変容を促した。

また、住宅の新築・リフォーム等を検討する県民に対して、断熱等の住宅性能の向上が省エネに貢献し、家庭からの温室効果ガス削減につながることを分かりやすく伝えるため、建築関係事業者等を対象とした「我が家の脱炭素化促進セミナー」をWeb開催（配信：令和6年2月19日～3月15日）し、62名の参加があった。

令和5年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	我が家の快適化促進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

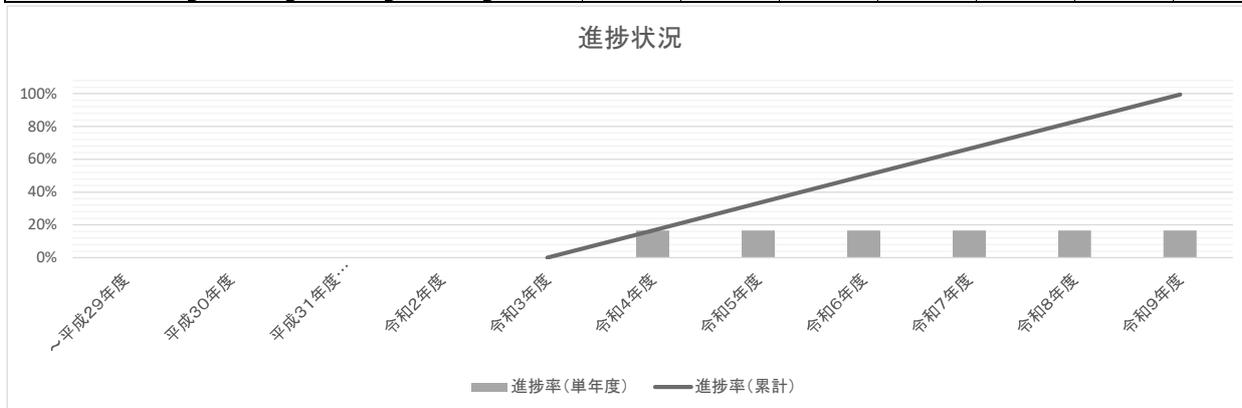
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委員旅費	7,770	0	7,770	委員4名、協議会2回
委員報償費	80,000	0	80,000	〃
講師謝礼	70,000	0	70,000	
合計	157,770	0	157,770	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)						196	158	547	547	547	547
事業費(累計)						196	354	901	1,448	1,995	2,542

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)						17%	17%	17%	17%	17%	17%
進捗率(累計)					0%	17%	33%	50%	66%	83%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内において放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動と不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
2027年までに回収されるゴミの量を3t以下にする。

2. 概要

清掃活動団体を育成し、その活動に対して補助金を交付し支援することで、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

清掃活動団体が実施する国立公園内を巡回して放置ゴミ等の回収・処理する清掃活動や不法投棄防止の啓発活動に要する経費に対して補助金を交付した。

○国立公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ補助金を交付した。

○十和田八幡平国立公園において、2団体が0.2トンのゴミを回収した。

内 訳：一般社団法人十和田湖国立公園協会（十和田八幡平国立公園十和田地区）0.1トン
八幡平を美しくする会南八幡平支部（十和田八幡平国立公園秋田駒ヶ岳地区）0.1トン

時 期：令和5年4月～令和6年3月

令和5年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

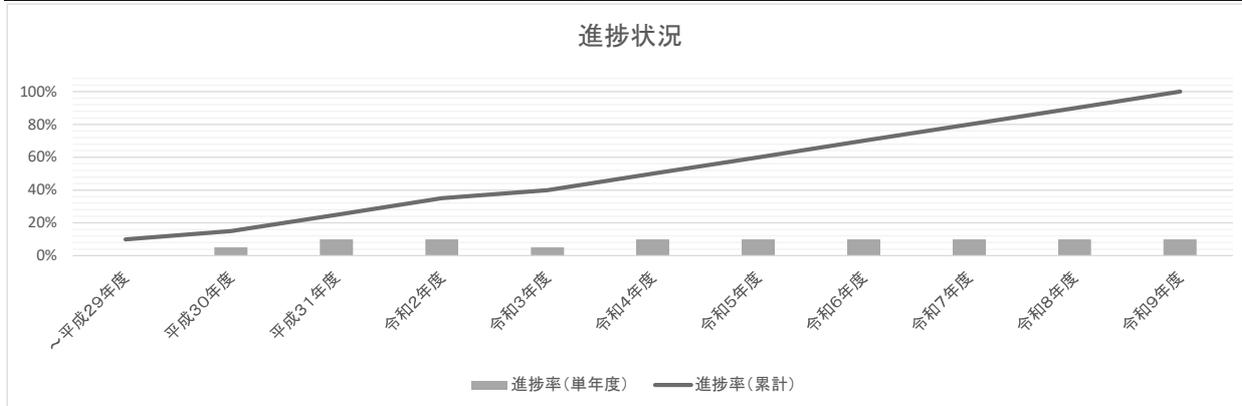
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
負担金	396,000	0	396,000	一般社団法人十和田湖国立公園協会、八幡平を美しくする会南八幡平支部
合計	396,000	0	396,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		250	340	358	366	370	396	416	400	400	400
事業費(累計)	1,623	1,873	2,213	2,571	2,937	3,307	3,703	4,119	4,519	4,919	5,319

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内における放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動や不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国定公園及び県立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
2027年までに回収されるゴミの量を60t以下にする。

2. 概要

自然公園が位置する地域ごとに清掃活動団体を育成し、その活動に対して補助金を交付し支援することで、自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

清掃活動団体が実施する国定公園又は県立自然公園内を巡回して放置ゴミ等の回収・処理する清掃活動や不法投棄防止の啓発活動に要する経費に対して補助金を交付した。

○国定公園・県立自然公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ、市町村を経由して補助金を交付した。

○県内の国定公園3カ所、県立自然公園3カ所において、6団体が61.7トンのゴミを回収した。

内 訳：にかほ市 鳥海国定公園を美しくする会（鳥海国定公園）10トン
湯沢市 湯沢市栗駒国定公園を美しくする会（栗駒国定公園）1.5トン
男鹿市 男鹿を美しくする会（男鹿国定公園）48トン
大仙市 真木真昼県立自然公園を美しくする会（真木真昼県立自然公園）0.8トン
北秋田市 県立自然公園森吉山を美しくする会（森吉山県立自然公園）0.3トン
大館市 田代岳を愛する会（田代岳県立自然公園）1.1トン

時 期：令和5年4月～令和6年3月

令和5年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

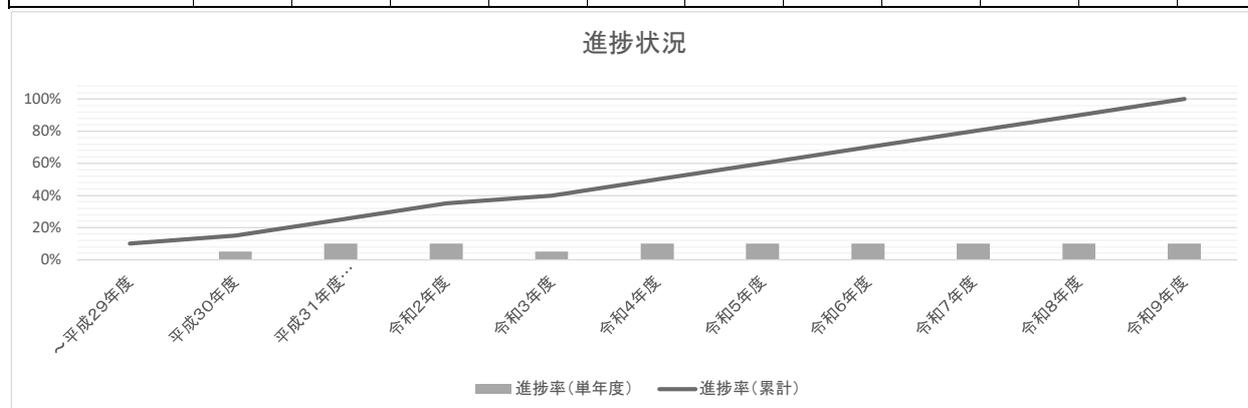
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
負担金	903,000	0	903,000	
合計	903,000	0	903,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		880	941	973	997	847	903	1,133	1,000	1,000	1,000
事業費 (累計)	3,887	4,767	5,708	6,681	7,678	8,525	9,428	10,561	11,561	12,561	13,561

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

【目標】

白神山地をフィールドにした自然体験教室を令和9年度まで継続し、定員（年4回、各回20名、計80名）に対する参加率80%以上を継続させる。

2. 概要

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画
- ・秋田県環境基本条例

4. 実施内容等

白神山地の価値や保全の大切さを次代を担う子どもたちへ伝えるため、白神山地をフィールドにした自然体験教室を開催した。

川や海での自然観察・体験を実施した。多様な生き物、森・里・川・海のつながり、人との関わりなど、子どもたちが白神山地の豊かな自然環境からもたらされる恵みに気づき、保全活動に関心を持ってもらえる内容で実施をした。

参加者を募る周知活動については、県央・県南の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布した。

- ・実施期間：夏休み期間中
- ・実施場所：白神山地（藤里町、八峰町）
- ・対象者：小学4～6年生
- ・参加者：80名

令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

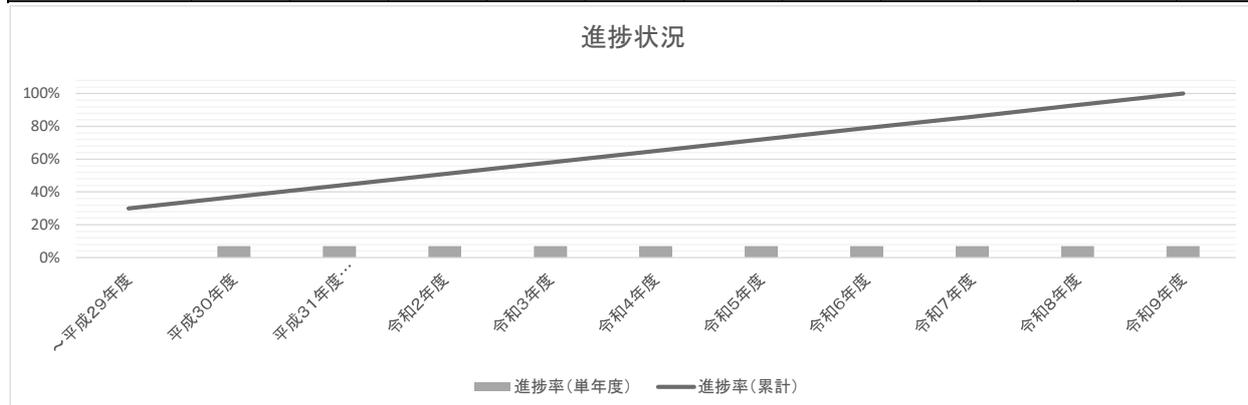
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費	33,809	33,809	0	
役務費	12,000	12,000	0	
委託費	2,200,000	1,000	2,199,000	
合計	2,245,809	46,809	2,199,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		2,160	2,327	2,855	2,118	2,706	2,199	2,252	2,200	2,100	2,000
事業費(累計)	4,865	7,025	9,352	12,207	14,325	17,031	19,230	21,482	23,682	25,782	27,782

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

世界遺産白神山地の生態系や生物多様性の保全を図り、その価値と魅力を将来に伝えていくために認定した「あきた白神認定ガイド」に対し、更新講習及び面接指導等を実施し、育成を継続する。

【目標】

認定期間が終了する「あきた白神認定ガイド」のうち80%以上を更新させる。

2. 概要

白神山地の魅力や価値は一見して理解されづらいため、それらを分かりやすく伝えることができる白神ガイドの存在は不可欠である。平成30年度～令和2年度の3年間で、世界遺産白神山地におけるガイド及び保全活動に関心のある人を対象に、白神山地に関する知識やガイド技術等を習得してもらうための講習・試験を実施し、白神ガイドとして認定した。白神ガイドとしての認定期間は3年間であるため、更新講習・面接を実施し、ガイド水準を維持することによって、世界遺産としての白神山地の価値や魅力が多くの人に伝わり、白神山地の保全意識の気運を高めることに繋げる。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画
- ・秋田県環境基本条例

4. 実施内容等

講習・面接

- 講習：年間3回実施（7/29：藤里駒ヶ岳、9/30：水沢越え～三蓋沢、11/26：八峰白神ジオパーク）
- 面接：各講習後に実施（7/29：2名、9/30：4名、11/26：7名）
- 更新：13名

令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

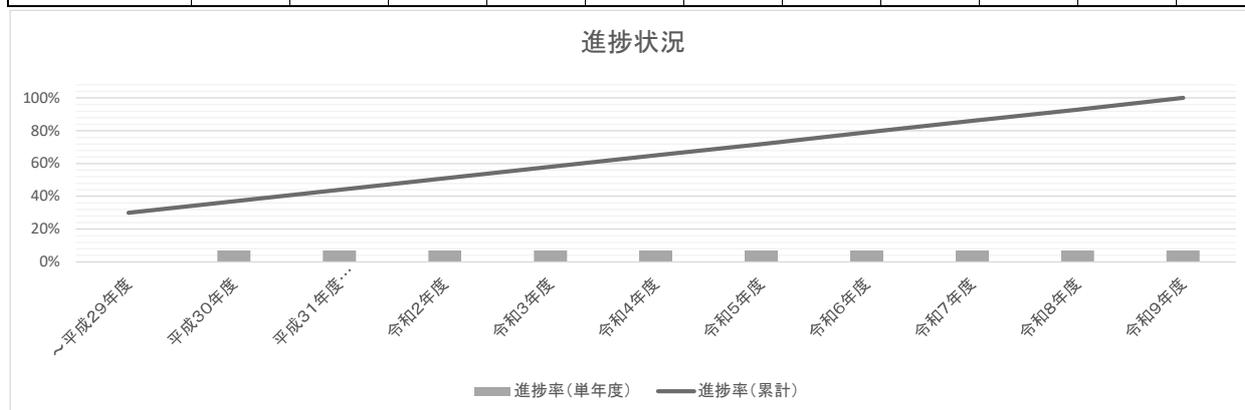
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費	99,000	99,000	0	
役務費	12,000	12,000	0	
委託費	1,366,200	200	1,366,000	
使用料	16,000	16,000	0	
合計	1,493,200	127,200	1,366,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			3,014	3,060	1,261	1,326	1,366	2,218	2,000	2,000	2,000
事業費(累計)		0	3,014	6,074	7,335	8,661	10,027	12,245	14,245	16,245	18,245

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	白神山地世界遺産登録30周年記念事業	開始年度	令和5年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和5年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

令和5年12月11日に白神山地が世界遺産登録30周年を迎えるにあたり、白神山地の何が世界遺産として評価されたのか、その価値を伝えて自然環境保全の意識を高めるとともに、将来のあり方について考え普及啓発を図る。また、体験プログラム等の情報を整理することにより、誘客や情報発信に用いる基礎資料を得る。

【目標】

シンポジウムへの参加者定員（200名）、現地散策参加者定員（40名）に対する参加率を80%以上とする。
集計外指標として、小中学校等における環境教育学習などでの活用を図る。

2. 概要

- ・白神山地では、登山や沢歩き等多くのプログラムやアクティビティがある。それらの情報を収集し、ターゲット別（年代別等）に整理して自然体験や環境学習等の利活用に繋げる。
- ・環境学習のほか、現地でのフィールドガイドとしても活用できるように、白神山地の自然や価値等をわかりやすく解説した冊子を作成する。
- ・白神山地の世界遺産としての価値や魅力を改めて伝えるとともに、将来のあり方を考え、保全を前提とした地域振興について考える契機とする。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画
- ・秋田県環境基本条例

4. 実施内容等

- ・白神山地エリアにおいて行える体験プログラムやフィールドの情報を収集し、調査結果を得た。
- ・環境学習のほか、現地でのフィールドガイドとしても活用できるように、白神山地世界遺産登録20周年時に作成した白神山地の自然や価値等をわかりやすく解説した冊子をリニューアル作成（1,500部）した。
- ・シンポジウム（あきた白神まつり ～30th anniversary～）200名
ステージイベント等賑やかし 1,000名
現地散策 37名 が参加

令和5年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	白神山地世界遺産登録30周年記念事業	開始年度	令和5年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和5年度

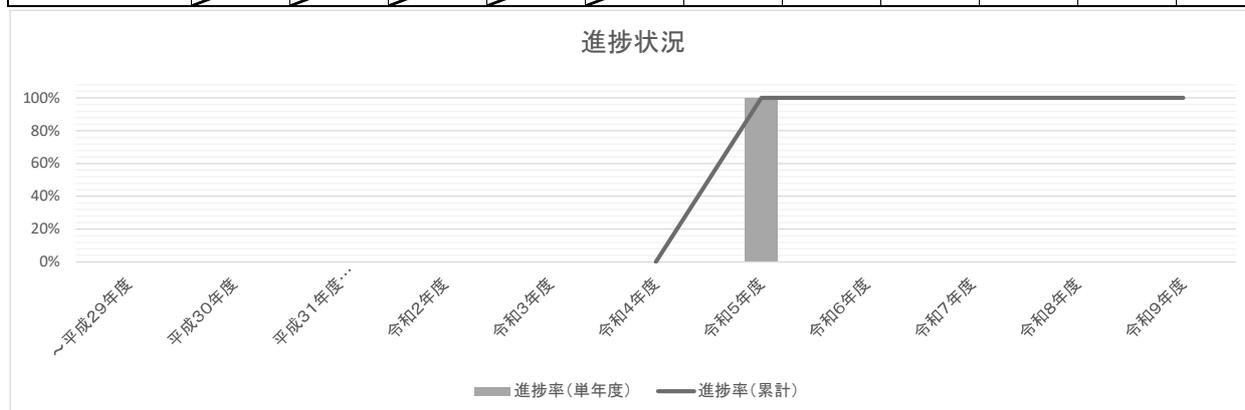
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費	68,899	68,899	0	
役務費	24,000	24,000	0	
委託費	10,604,000	2,471,366	8,132,634	
使用料	353,720	353,720	0	
合計	11,050,619	2,917,985	8,132,634	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)							8,133				
事業費(累計)							8,133	8,133	8,133	8,133	8,133

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)							100%				
進捗率(累計)						0%	100%	100%	100%	100%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県では生物多様性基本法に基づき、本県の生物多様性の保全と持続可能な利用を目指すため、令和3年3月に「秋田県生物多様性地域戦略(2021-2030)」を策定した。

しかし、本県では「生物多様性」という言葉そのものが十分に浸透しておらず、より多くの県民に、より早い段階で生物多様性の意味とその保全の重要性を認識してもらい、地域レベルや個人レベルでの取組に繋げていく必要があることから、普及啓発活動を継続的にを行い、県民一人ひとりの理解促進を図る。

【目標】

生物多様性の理解を深めてもらうためには、野外体験や自然観察会など自然と触れ合う機会を増やすことが大切である。県ホームページやリーフレットなどによる情報発信を行い、県で管理している環境と文化のむら（五城目町）、奥森吉青少年野外活動基地（北秋田市）、森吉山野生鳥獣センター（北秋田市）の利用者数の増加に繋げる。

平成31年度における3施設の利用者総数、約2万1千人から、令和9年度末には3万人の利用者数をを目指す。

単年度目標1、290人以上の利用者 × 7ヶ年 ≒ 9千人以上

2. 概要

令和5年度は里地里山や身近な自然とのタッチポイント（=自然との触れ合いの機会）を増やし、生物多様性の保全の核となる次世代の人材の育成に取り組むため、大学生が主体となり里山を舞台とした自然観察会を開催するとともに、観察会前後の大学生の活動の様子を情報発信する。

さらに、横手市で地元の小学生を集めて、安本自然環境保全地域の魚類を観察する生き物調査を実施する。

3. 根拠法令等

- ・生物多様性基本法
- ・生物多様性国家戦略
- ・持続可能な開発目標（SDGs）
- ・秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）

4. 実施内容等

生物多様性の主流化を浸透させるため、以下の内容で事業を実施した。

○里山利活用プロジェクト

1. 環境教育プロジェクトの実施

男鹿市の里山にある圃場を拠点にして、大学生を対象として、里地里山や身近な自然とのタッチポイントを増やし、環境科学・食・農など、生活環境に関わる幅広いトピックに触れあえる環境教育イベントを実施した。圃場での野菜の栽培・収穫、男鹿市や秋田市での野菜の販売、里山の専門家による里山の課題などの共有などを通じて、大学生が男鹿の里山について「伝える側」となり、男鹿や里山に対する理解や愛着を深めることに繋がった。

- ・実施期間：令和5年7月～12月（6回の環境教育イベントを実施）
- ・参加者：大学生9名

2. 生物多様性の広報冊子の作成

生物多様性の重要性を理解すること、生物多様性を身近に感じてもらうことの2点に着目して広報冊子の制作を実施した。

概要 内容：生物多様性・里山の概要、里山を守る方へのインタビュー、身近な生物多様性への関わり方（16ページ、カラー）

主な配布先：秋田文化創造館・にぎわい交流館AU・国際教養大学（いずれも秋田市）
男鹿市役所、TENOHAM男鹿（いずれも男鹿市）

○生き物調査

横手市にある安本自然環境保全地域において、地元小学生向けの魚類観察会を実施した。定置網及びもんどりによる魚類採捕を実施し、タイリクバラタナゴやアメリカザリガニなど外来種の影響やキタノアカヒレタビラの生態等について説明を行った。

- ・実施日：令和5年8月23日（水）
- ・参加者：小学生16名

令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

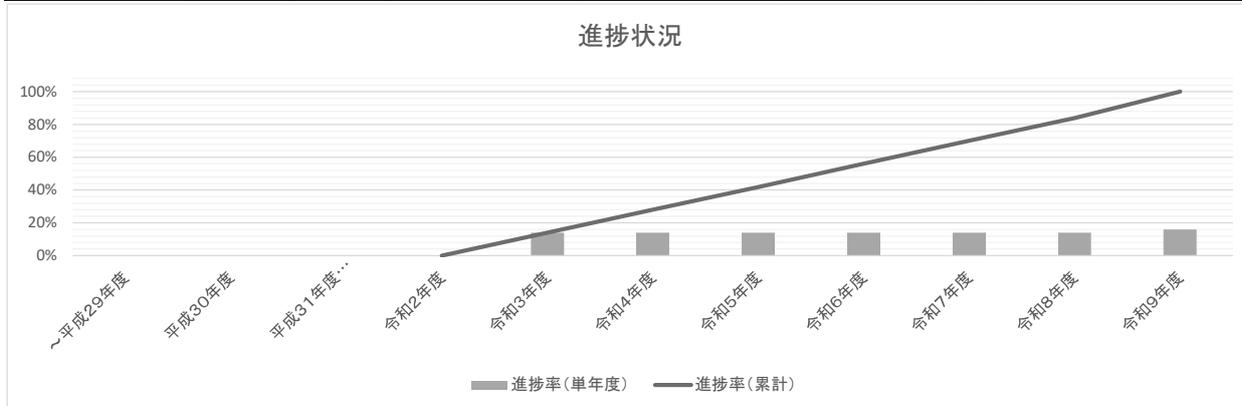
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	70,000	0	70,000	
講師旅費	8,769	0	8,769	
委託費	997,500	0	997,500	
合計	1,076,269	0	1,076,269	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					627	1,559	1,077	1,305	1,305	1,305	1,305
事業費(累計)					627	2,186	3,263	4,568	5,873	7,178	8,483

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率(累計)				0%	14%	28%	42%	56%	70%	84%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	奥森吉青少年野外活動基地宿泊型環境学習会	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）の行動計画に基づき、本県の生物多様性の保全に関する普及啓発活動として、奥森吉青少年野外活動基地を拠点に、次代を担う子ども等に対して自然環境教育の機会を提供し、SDGsの理解促進や自然保護意識の育成を図る。

【目標】

環境教育事業参加者数：40人/年

2. 概要

奥森吉青少年野外活動基地において従来実施していなかった宿泊型の環境教育を実施することにより、日帰りでは実施できなかった夜間早朝を含めた森吉山周辺の自然観察会を実施する。特に特定外来生物（オオハンゴンソウ）の駆除などの体験を通じて生物多様性やSDGsへの理解を深めてもらえるメニューを提供する。

3. 根拠法令等

- ・生物多様性基本法
- ・秋田県立自然公園条例
- ・秋田県奥森吉青少年野外活動基地条例
- ・秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）

4. 実施内容等

秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]の行動計画に基づき、本県の生物多様性の保全に関する普及啓発活動として、奥森吉青少年野外活動基地を拠点に、県内の小学3年生とその家族を対象に1泊2日で、周辺地域の豊かな自然環境を体験する宿泊型環境学習会を開催した。

- ・第1回 令和5年7月29日（土）～令和5年7月30日（日）
内 容：森探検、植樹、自然素材クラフト工作、星見観察会、桃洞の滝散策、溪谷遊び 等
参加者：11名
- ・第2回 令和5年8月5日（土）～令和5年8月6日（日）
内 容：森探検、植樹、星空観察会、昆虫観察会、自然素材クラフト工作 等
参加者：18名

令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	奥森吉青少年野外活動基地宿泊型環境学習会	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

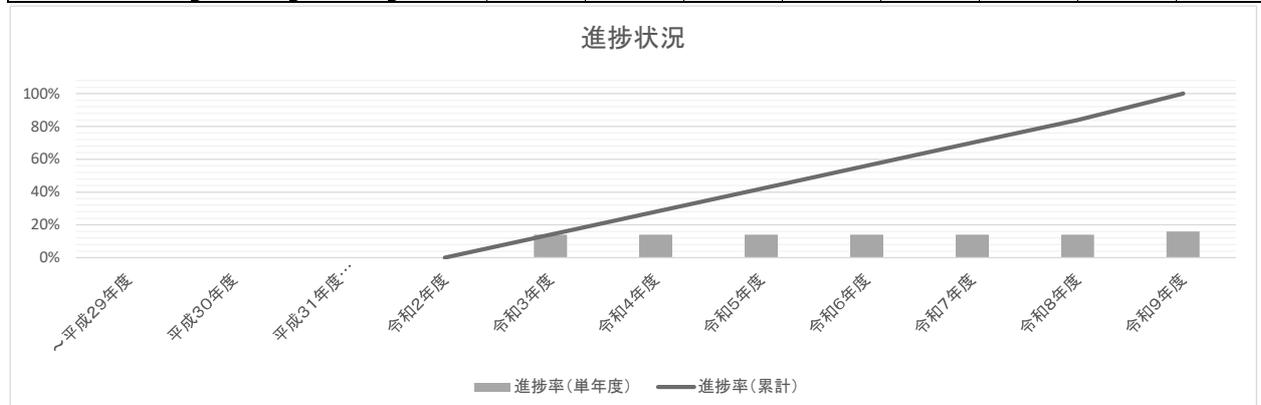
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	63,910	0	63,910	
借料	0	0	0	
委託費	1,700,000	0	1,700,000	
負担金	0	0	0	
合計	1,763,910	0	1,763,910	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					516	1,054	1,764	1,700	1,600	1,500	1,400
事業費(累計)					516	1,570	3,334	5,034	6,634	8,134	9,534

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率(累計)				0%	14%	28%	42%	56%	70%	84%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。 また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大してきている。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する。</p> <p>【目標】 目標値：出前講座を27件以上／年または1,000名以上／年に対して実施する。</p>
--

2. 概要

<p>野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く普及啓発するため、県民を対象とした野生動物生態用読本を増刷するほか、野生鳥獣の保護管理に関しての県民の理解を深めるため、県の管理事業計画に関するパンフレットを作成する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第5次ツキノワグマ） ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

4. 実施内容等

<p>○出前講座等 出前講座やセミナー等で使用する教材「クマの生態と対策について」の読本を全県の小中学生へ配布し、クマの接し方について啓発した。「クマの生態と対策」について、わかりやすく、正しい知識の普及啓発のため、クマの足形などのクマキットと読本等を作成し、出前講座等を実施した。 出前講座実績 ・件数（研修・講座）：74件 ・受講者数：延べ4,754人</p> <p>○クマの注意喚起チラシの配布 クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行った。 ・作成部数：15,000枚 ・配付先：各市町村、県有施設、警察署ほか</p>

令和5年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

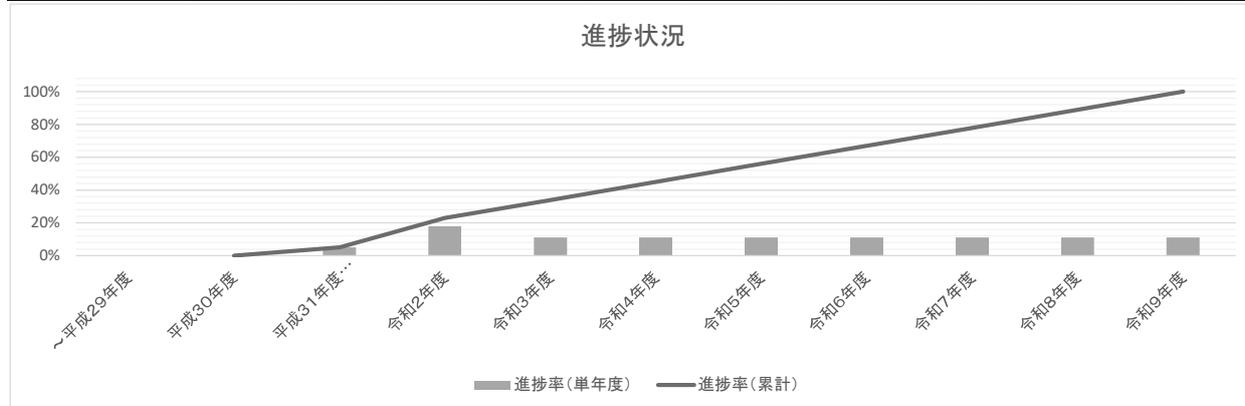
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費	42,900	0	42,900	注意喚起チラシ作成費
印刷製本費	1,111,440	0	1,111,440	読本・普及啓発冊子印刷費
合計	1,154,340	0	1,154,340	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			640	2,174	1,040	907	1,155	1,150	1,150	1,140	1,130
事業費 (累計)			640	2,814	3,854	4,761	5,916	7,066	8,216	9,356	10,486

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			5%	18%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	11%
進捗率 (累計)		0%	5%	23%	34%	45%	56%	67%	78%	89%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。

また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大してきている。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する必要がある。

【目標】

フォーラム参加者数：100人以上/年

2. 概要

野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象としたフォーラムを開催する。

3. 根拠法令等

- ・秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第5次ツキノワグマ）
- ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
- ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

4. 実施内容等

開催日：令和5年7月9日（日）

場 所：秋田県立総合射撃場

参加者：107名

実施内容

- ・狩猟免許取得相談
- ・標的射撃見学
- ・ビームライフル射撃体験
- ・シューティングシミュレーター体験
- ・ジビエ料理試食
- ・模擬銃・畏獣具・鳥獣写真・パネル等展示

令和5年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策推進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

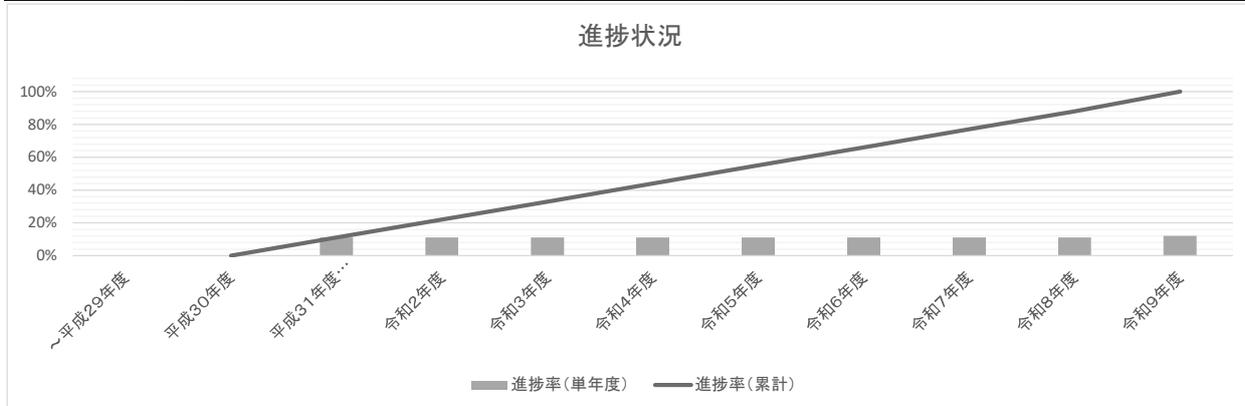
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託料	1,000,000	100,000	900,000	野生鳥獣対策推進フォーラムの実施に係る業務（事前準備に係る経費：525千円、チラシ・ポスター作成費：132千円、その他消耗品等243千円）
合計	1,000,000	100,000	900,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			402	432	710	900	900	900	900	900	900
事業費 (累計)			402	834	1,544	2,444	3,344	4,244	5,144	6,044	6,944

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			11%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	12%
進捗率 (累計)		0%	11%	22%	33%	44%	55%	66%	77%	88%	100%



令和5年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

本県の恵まれた環境をより豊かなものとして将来の世代に継承していくため、県民が組織する民間団体が地域住民等に対し自主的に行う環境保全活動を支援することにより、県民が環境保全の意義や重要性を理解するとともに、環境保全活動の自主的行動を促進する。

【目標】

補助事業による環境保全活動等への参加者を令和9年度までに延べ3,600人以上にする。

2. 概要

秋田県環境基本条例第16条に基づき、民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動に要する経費を支援する。

3. 根拠法令等

- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

○環境あきたエコ活動促進支援事業

民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動等に要する経費の助成に係る費用を中間補助事業者に交付し、中間補助事業者の審査を経て、環境保全の普及啓発事業を行う団体に助成を実施した。

事業費内訳	： 予算額（補助金）	2,000,000円	； 実績額	1,703,346円
	： 予算額（事務費）	750,000円	； 実績額	750,000円
	： 予算額（計）	2,750,000円	； 実績額	2,453,346円

NPO等の環境保全団体に対して、次のとおり助成を行い、地域住民等の環境保全の取組み支援及び普及啓発を実施した。

助成団体 6団体 助成額 1,703,346円

取組事例 秋田県スキューバダイビング連盟（男鹿半島の各地域で水中ゴミの回収作業ダイブ、ビーチのクリーンアップを実施）
三湖伝説連絡協議会（八郎湖湖岸にて環境学習、採捕調査、河床の清掃活動を実施）
6団体延べ参加人数3,992名（小中学生及びその保護者、県民など）

令和5年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

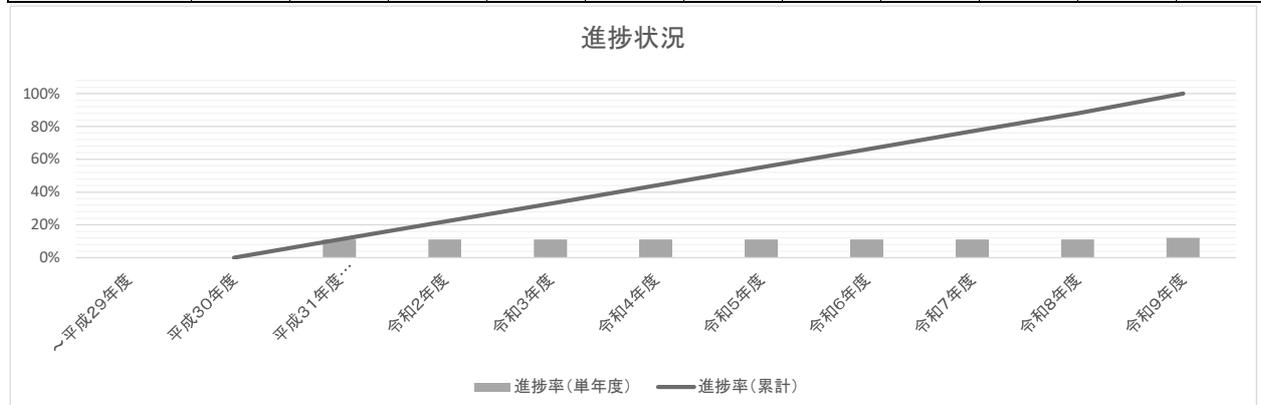
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
負担金	2,453,346	0	2,453,346	補助金（事務費含む）
合計	2,453,346	0	2,453,346	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）			2,617	2,624	2,750	2,750	2,454	2,500	2,450	2,250	2,000
事業費（累計）		0	2,617	5,241	7,991	10,741	13,195	15,695	18,145	20,395	22,395

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）			11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	12.0%
進捗率（累計）		0.0%	11.0%	22.0%	33.0%	44.0%	55.0%	66.0%	77.0%	88.0%	100.0%



令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

本県の環境施策の指針となる環境基本計画について、その計画の推進には、県民、NPO団体、行政のすべての主体の参加が必要であることから、広く県民等に環境保全の方針や施策について周知し、環境保全の自主的な活動に対する意識の醸成を図る必要がある。

【目標】

環境基本計画周知のためのウェブサイトの閲覧数を令和9年度まで延べ30,000件/年以上にする。
集計外指標として、小中学校等における環境教育の調べ学習などでの活用を図る。

2. 概要

秋田県環境基本条例に基づく基本計画の概要と、県民や企業、民間団体等の各主体が果たすべき具体的な役割と行動指針等を分かりやすく伝えるため、専用のウェブサイトにより周知啓発を行い、各主体の行動変容を促す。合わせて、環境に関わるSDGsの取り組みや活動等について、理解しやすいコンテンツとして掲載し、県民等の環境保全意識の醸成を図る。

3. 根拠法令等

- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

○秋田県環境基本計画等普及啓発事業

令和3年度に作成した秋田県環境基本計画等普及啓発ウェブサイト「あすも」のコンテンツ内容を充実させるとともに、認知度を向上させより多くの県民に利用してもらうため、インターネット広告による周知広報を実施した。

【動画コンテンツの作成】

- ・県内の民間団体等が自主的に行っている環境配慮の取組事例を取材し、動画コンテンツとしてサイトに掲載（3団体）
- （1）株式会社伊藤建設工業 （2）株式会社ウッドィさんない （3）NPO法人鳥海山麓グリーンネット

【WEBサイトの周知・広報】

- ・インターネット広告（Google、Yahoo!、LINE、Facebook等）
- （1）環境月間（6/6～6/30） （2）食品ロス削減月間（10/1～10/31） （3）冬季の省エネ期間（1/17～2/15）

令和5年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	2,981,550	0	2,981,550	ウェブサイトPR・保守管理業務委託費
負担金	0	0	0	
合計	2,981,550	0	2,981,550	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					2,785	2,872	2,982	2,982	2,000	1,500	1,000
事業費(累計)		0	0	0	2,785	5,657	8,639	11,621	13,621	15,121	16,121

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%
進捗率(累計)		0%	0%	0%	10.0%	25.0%	40.0%	55.0%	70.0%	85.0%	100.0%

